

2020年6月1日

会員各位

教室再開に向けた新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

NPO 法人ピボットフット
理事長 桑田 健秀

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この3ヶ月間長期にわたり自粛生活の中で大変ご苦勞が多かった事と思います。5月25日に国の緊急事態宣言全面解除となり、いよいよ社会活動の再開が間近となってきました。ピボットフットといたしましても全面解除とはなりましたが、慎重に慎重を重ね教室再開に向け準備をしているところでございます。国、都、区から示されましたガイドライン等に基づき、ピボットフットといたしましても以下の指針にそって運営をして行く所存です。場所の確保が出来き、準備の整った教室から順次再開をしていきたいと考えております。どうぞ安心してご参加頂けますようご案内申し上げます。

なお、教室により環境、背景が異なりますので、教室独自のガイドラインも付け加わり指導者から指示があると思いますので、ご対応宜しくお願い申し上げます。また、指導者、コーチだけでは手が回らないことがあるかと思えます。保護者の皆様のご協力も宜しくお願い申し上げます。

◆ 教室再開の大原則

- ① 大田区内の感染率および感染者数の推移が減少している。
- ② 東京都および大田区の緊急事態宣言が解除されている。
- ③ 施設管理者に教室実施を認められている。
- ④ 指導者およびスタッフと、その家族に感染者がいない。
- ⑤ 会員・参加者・運営者・指導者などに感染者が出た場合は活動を中止する。

◆ 活動実施のガイドライン

- ① 感染拡大防止用の消毒薬、マスク、シールド、清掃器具等を準備する。
- ② 3密（密閉・密集・密接）を避ける環境設定・教室運営を徹底する。
- ③ クラスターを創らない衛生確保・感染対策を、指導者・スタッフが徹底する。
- ④ 会員の持病、既往歴を再確認し、検温を含む健康チェックを実施する。

- ⑤ 会員および指導者・スタッフの健康状態と、活動状況（活動時間・プログラム内容・利用施設・使用器具など）を記録し保管する。
- ⑥ 供用する器具・設備（トイレ・更衣室など）・備品は、施設管理者とも確認の上、使用前後に消毒・除菌を徹底する。
- ⑦ タオル・飲用ボトル・用具などは各自持参し、供用を禁止する。
- ⑧ 会員の参加を最優先し、会員以外（見学者・保護者など）の参加は、原則お断りする。
- ⑨ 特に、小学生低学年以下の参加者に対する保護者の送迎で、室内施設については入口での送迎をお願いし、室内には入場しない。
- ⑩ 教室実施のガイドライン遵守のためのチェックリストを必ず記録する。
- ⑪ 感染者が発生した場合（保健所からの通知または本人・家族からの通告）は、速やかに教室を閉鎖し、関係者への周知を徹底する。所管部署から関連者リストの提出が求められることを想定し、提供する個人情報とデータベースを準備する。

◆ ピボットフットの対策

- 講師・スタッフの健康を管理し、出勤前の検温を義務づけ、記録・保管する。発熱（37.5度以上）、体調不良の場合は就業させない。
- スタッフ及びその同居家族等に発熱等の症状がある場合は就業をさせない。
- 講師は指導中可能な限りマスク着用を徹底する。対面指導は極力行わない。
- 入場制限の告知を実施する。当面の間、密接を防ぐため、入場制限を行っていることを告知する。
- 参加者に対する検温及び体調管理を行い、参加者名簿に記録、保管を行う。
- 参加者の体調を確認し、体調のすぐれない参加者には参加自粛を要請する。
平熱を超える発熱、咳・咽頭痛などの症状、だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、臭覚・味覚の異常、体が重く感じる・疲れやすい等がある場合
- 参加者にマスク着用の有無を確認するとともに、入場時の手洗い徹底や手指消毒を行わせる。
- 参加者のマスク着用は、レッスン時は種目、プログラムによって強制はしない。
- 受付担当者にはマスクを着用させ、必要に応じてフェイスシールドも使用させる。
- 待合・休憩・更衣室・トイレなどの共有スペースは定期的な除菌・消毒と換気を行うが、使用施設側ガイドラインに従うものとする。

- 特に、3密になり易い待合・休憩・更衣室・シャワーは当面使用禁止とする。
- 会員同士の接触や混雑を避けるため、ソーシャルディスタンスの表示を行う。
- 会員同士および会員と指導者・スタッフとの会話は密接にならない距離感とし、不用な会話、大声の会話は禁止を求める。
- 除菌・消毒用の備品、ペーパータオルやティッシュペーパー等の配置と必要に応じて補充するなど、使用施設と連携して感染予防に係る用具・備品の確認をする。
- ゴミの回収にあたっては、基本的にゴミ箱は使用禁止とする。回収する場合は、マスクや手袋を着用し、ゴミの入ったビニール袋は適切に処置するなどして廃棄する。マスクや手袋を脱いだ後は必ず石鹸と流水で手洗いをする。
- 使用施設館内の空気除菌、換気は使用施設側ガイドラインに従う。
- 参加者数基準は、教室の広さと人数の割合などによって参加者人数制限や時差レッスン等を教室単位で対応を策定する。
- 時期的に熱中症対策も合わせて行う。空調使用と定期的な換気、休憩と水分補給等随時行う。
- 再開に当たり、参加者の健康状況と体力をよく把握しレッスンに当たる。
- 施設の入口および建物内等に新型コロナウイルス感染拡大予防の注意喚起ポスター及び掲示版を設置する。
- 関係省庁および地方自治体作成のポスター・チラシを活用して、「手洗いの実施、定期的な消毒」等で感染拡大予防対策を周知する。

◆ 会員の皆様へ

ピボットフットの教室に参加する際は、以下の項目を守っていただきますよう、お願い申し上げます。

1. 以下の事項に該当する場合は、参加を自粛してください。

体調がよくない場合

平熱を超える発熱、咳・咽頭痛などの症状がある

だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある

臭覚・味覚の異常、体が重く感じる・疲れやすい等がある

感染症陽性と判定された方との濃厚接触がある場合

同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2. 教室参加当日は、朝の検温、教室参加前の検温を励行し、教室開始前までに指導者、コーチに体調含め報告をお願いします。参加者名簿に記録、保管します。
3. 教室参加前の検温については、参加者各自で体温計持参して頂き計測・記入して頂きます。記録用紙は事前に提供しますので、当日忘れた方には参加をご遠慮頂きます。
4. マスクを必ずご持参ください。(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること) 運動中は熱中症の恐れがあるため、着用しなくてもよいです。
5. 入館時と教室終了後は、必ず手を洗い、アルコール等による手指消毒をしてください。
6. 他の参加者、スタッフ等との距離(できるだけ2 m以上)を確保して下さい。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く) また、強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けて下さい。
7. タオルや飲み物などは各自持参し、共有はしないでください。
8. 教室開催中に大きな声で会話、応援等をしないで下さい。
9. 休憩は指定場所で行い、周囲の人となるべく距離を取って対面を避けてください。
10. 教室参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに指導者および事務局(03-3776-5113)までご連絡ください。
11. 食事 お菓子 缶の飲み物 カップコーヒーなどは持ち込まないでください。
12. ゴミは必ずお持ち帰りください。
13. 忘れ物は当日取りに来ない場合は処分します(保管できません)

今回のガイドラインは、教室再開に当たり、参加者、そのご家族、指導者、運営スタッフが安全に活動できるよう編纂したものです。ご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。今後は、社会環境、社会情勢を見ながら随時改変が行われますのでご承知置きください。ピボットフットのホームページでも告知いたしますのでご高覧ください。

以 上